

## 田沢湖地域審議会会議録

【と き】平成18年 2月15日（水）

午前10時～12時00分

【ところ】田沢湖庁舎第1会議室

【出席委員】 八柏龍也・千葉正登・高橋正治・山手祐子・羽川芙紗子・  
羽根川朋幸・細川雪子・羽根川覚・小松直・高藤孝子・伊藤  
和彦・高橋達・草薨俊一 （13人）

【欠席委員】 藤村正喜・門脇隆広 （2人）

【出席職員】 石黒市長、浦山田沢湖地域センター長、大楽総務部次長、  
倉橋企画政策課長、田口総合窓口課長、藤原地域振興課長、  
成田田沢湖地域観光課長補佐、柴田田沢出張所長、  
三浦神代出張所長、藤村企画政策課参事、  
千葉総合窓口課長補佐 （11人）

### 【議 事】

- （1）地域審議会の諸規定と進め方について
- （2）会長及び副会長の互選について
- （3）新市建設計画について
- （4）仙北市総合計画（案）の策定について
- （5）意見交換
- （6）その他

### 《田口総合窓口課長》

ただいまより、田沢湖地域審議会を開催します。田沢湖地域審議会委員を承諾していただきました皆様に委嘱状を交付します。

### 《石黒市長》

（各委員の席を廻り委嘱状を交付した。）

ただいま、田沢湖地域審議会の委嘱状をお渡しいたしました。皆様ご承知のとおり、田沢湖町、角館町、西木村が9月20日をもって合併し、仙北市となりました。約五ヶ月経過したところですが、今後の地域づくりをする上で、地域のご意見を十分に取り入れた市政を築いていきたいと思っております。合併協議の中でも、最終的に地域審議会を置くとした訳けですが、やはり、合併したとはいえ、地域の良さ、特徴は、やは

りあるものだと思います。地域のエゴを通すということではなく、仙北市全体をよくするために地域としての事情が十分届くように、反映するようにお願いしたいと思っています。合併前の構成三町村、田沢湖町、角館町、西木村それぞれに置くということ。それに、委員の数は15人ずつということで構成をいたしております。人選につきましては、広く、いろんな分野、いろんな地域の意見を聞きたいということで人選をさせていただきました。しかし、自分の与えられた地域、分野だけでなく、広く全体を考えた委員会活動の中で、していただきたいと思います。是非、皆様のお力を借りて、今後、仙北市がよりよい地域になりますようがんばって参りたいと考えています。合併が9月20日ですが、それから1年、つまり、この平成18年9月末を目途に、新市の建設計画を展開していくための総合計画を作ろうとしています。その中に、皆様のご意見を反映させ、さらには、一度決めれば変更無しということではなく、その経過の中で、世の中の変化を睨み、ローリングをかけながら変更ある時は皆様方の意見を取り入れたいと思います。宜しく申し上げます。簡単ですが、これでご挨拶と代えさせていただきます。

《田口総合窓口課長》

次に委員及び職員のご紹介をさせていただきます。

(委員は名簿順に自己紹介をし、職員は総合窓口課長が行った。)

### (1) 地域審議会の諸規定と進め方について

《田口総合窓口課長》

地域審議会の諸規定と進め方についてを浦山センター長が説明いたします。

《浦山田沢湖地域センター長》

それでは、私からご説明を申し上げます。本来であれば、会長、副会長の互選をしていただいてから進ようとしていましたが、昨日、角館地域で行われました審議会において、この内容を先に理解したいということの意見があったということです。当田沢湖地区でも順番を変えて先に内容を説明させていただきたいと思います。新市の将来像として掲げております「観光産業を活かした北東北の拠点都市」これを目指しております。行政区域の面積が1,093.64km<sup>2</sup>となり、旧仙北郡の52%ぐらいになります。そういう意味では広域的な視点からのまちづくりが可能になった訳です。反面、地域住民からは、住民の声が行政に届

きにくくなるのではないかと、という声が合併協議のなかでもあがっていたわけですが。そういったことを解消するため地域の特色に応じた、きめ細かな行政サービスを行っていくことを目的としまして、旧町村単位に地域審議会を設置することになった訳です。（地域審議会の設置に関する告示第1条から第9条まで詳細に説明）

《田口総合窓口課長》

説明が終わりました。各委員からご質問、ご意見を伺いたいと思います。内容についてはご質問ありませんか。

なしの声。

## （２）会長及び副会長の互選について

《田口総合窓口課長》

それでは議事の（２）会長及び副会長の互選についてですが、いかがでしょうか。お伺いします。

《高橋達委員》

皆さんで相談して決めることと思うが、事務局案はあるか。

《浦山田沢湖地域センター長》

このような会では、事務局案の提出を求められることが多いと思いますが、この地域審議会というのは、構成された委員の自由闊達な発言の場と考えますので、事務局案というのは持ち合わせておりません。

どうか、委員の方たちの互選で、選出をしていただきたいと思います。

《高橋達委員》

それでは、選考委員をたてて選出した方がいいと思いますが。

《田口総合窓口課長》

ただいま、選考委員をたてて選出という意見がありましたが、いかがですか。

賛成多数。

《田口総合窓口課長》

それでは、委員の方から選考委員をお願いします。立候補して頂きたいとおもいますが、いかがですか。

《石黒市長》

ちょうど二列に分かれています。一列3名選出していただくことはいかがですか。

《伊藤和彦委員》

4名ではいかがでしょうか。各号（選任区分）の名簿トップではいかがか。

《田口総合窓口課長》

伊藤委員より4名というお話しがあり、各号の名簿トップの方ということではよろしいですか。

異議無しの声

《田口総合窓口課長》

異議無いようですので、私から指名いたします。1号委員八柏龍也さま、2号委員羽川英紗子さま、3号委員羽根川覚さま、4号委員高橋達さま、別室で協議をお願いします。選考が終わるまで、暫時休憩します。

（休憩10時37分～10時45分）

《田口総合窓口課長》

協議が終わりましたようですので、休憩以前に遡り会議を再開します。選考委員長の八柏委員より発表をお願いします。

《八柏龍也選考委員長》

それでは発表します。会長には伊藤和彦さん、副会長には山手祐子さんをお願いしたいと思いますが。

《田口総合窓口課長》

以上、発表のとおりでよろしいでしょうか。

満場異議無しの声。

《田口田沢湖総合窓口課長》

それでは、会長になられました伊藤和彦さま、会長席をお願いします。

《伊藤和彦会長》（会長席に移動）

委員の互選ということで選出していただきました。また、市長から諮問を受け、回答していく、それにほかの地域から認知されるような会にしたいと思いますので宜しくお願いします。私は意見集約が苦手で、自分の意見を述べる方で、皆様のご協力無くしては提案が出来ませんので、宜しくお願いしたいと思います。

### （3）新市建設計画について

《伊藤和彦会長》

それでは、早速議事に移ります。新市建設計画についてを担当の方に説明をお願いします。

《大楽総務部次長》

それでは、私から（３）新市建設計画についてを説明いたします。

皆様に仙北市新市建設計画についての概要をお配りしていますので、それに沿って説明します。（仙北市新市建設計画概要版で詳細に説明）

《伊藤和彦会長》

説明をしていただきましたが、基本的なことで質問がありましたら、お願いします。なければ次に移りますが、異議ありませんか。

なしの声

#### （４）仙北市総合計画（案）の策定について

《伊藤和彦会長》

それでは、次の（４）仙北市総合計画（案）の策定についてを説明してください。

《倉橋企画政策課長》

仙北市総合計画（案）の策定についてを私から説明させていただきます。策定のスケジュールが資料にありますので、ご覧ください。（資料で詳細に説明）次回、４月か５月の審議会まで何らかの形で意見集約したいと思っていますので、宜しくお願いします。

《伊藤和彦会長》

ありがとうございました。それでは総合計画（案）の策定についてと先程の新市建設計画についてでご質問があれば伺います。時間が限られていますので、発言者がなければ順番にお伺いしたと思います。

《高橋達委員》

いろんな計画（案）に対して、委員としての役割は解ったが、今までの例を見ると、計画作成に参加できないこともあった。この審議会は、原案作成時から参加出来ないか。

《伊藤和彦会長》

この審議会は、市長からの提案、諮問を受け、回答して頂くということですので、私が思うに、それは無理かと思えます。前向きな意見や、皆様の経験を活かした提案で、貢献して頂きたいと、ご期待申し上げます。ほかにご意見ございませんか。・・・それでは、先程申し上げましたとおり順番に指名します。八柏委員からお願いします。

《八柏委員》

前もっていただいている資料に、目を通しておりますが、総合的な内容

です。もう少し検討して見なければ意見はありません。

《千葉正登委員》

私も八柏委員と同様で、もう少し検討させて頂きたい。

《高橋正治委員》

一番大切・大事なことは、市民の意見を反映させることだと考えているので、そうゆう方向でがんばる。

《山手委員》

今回同様、会議の資料は事前に配布していただけるか。

《倉橋課長》

角館でも同じことを指摘いただいたが、なるべく早く配布するようにします。次回の開催でも、なるべくテーマを絞って意見を伺うようにします。

《伊藤会長》

皆さんは、抽象的な表現でなにかとやりにくいかと思いますが、具体的なもので判断していただきたい。

《羽川委員》

今日は最初の会議ということで、勉強中ですので意見はありません。

《羽根川朋幸委員》

私も、合併して間もなく、今、どのような話になっているか見極めてから、発言したいと思います。

《細川委員》

初めの市長さんのお話と、センター長さんのお話の中で、地域エゴとは違って、地域の特徴を活かす協議をするようにとあった。私も同様と考えるが、この会の重みも痛切に感ずる。まして、地域エゴではないことを申し上げなければならない。心配である。また、先程の説明の中で、議会と違った意見云々、とあったが、私たちは、諮問されたことに対して自分の感性に基づいて発言しようと思う。地域の廻りの情報を得ながら議会と違った場で状況をお知らせするのは、大変なことである。私が応募の際に書いたことは、教育のことについてである。現状さまざま難しいことがあるようなので、そうゆう場面では少しでもお役に立ちたいと考えている。また、三地区で合同の審議会は出来ないか。

《羽根川覚委員》

まちづくりの方針の中でですが、私の勘違いかもしれませんが、仙北市になってからも観光協会が田沢湖、角館、西木と未だに分かれていると思うがいかなものか。一緒になってこそ、新市としての連帯が生まれると思うが。

《伊藤会長》

ただいまの意見は、観光協会のことですが、合併協議の中でも取り上げられた事例かと思えます。担当からの説明を求めます。

《石黒市長》

ただ今の質問にお答えする前に。これは、あくまでも観光産業を活かしたまちづくりというのが仙北市の将来像になっているわけで、いろんな人が来てくれる、関心を持ってくれる都市、拠点というのが仙北市の目指すところである。そのために、魅力を感じてもらえるような農業であれ、商業であれ、工業であれ、特徴を付けていく。あそこに行ったら、外では見られないようなものが見られる。結果として観光につながっていく。観光はあくまでも結果だと思えます。しかし、いろんな資源を持っている訳ですから、観光は仙北市に欠かせない課題であり財産だと考えます。さて、観光協会の話ですけれど、現在、まだ一緒になっておりません。これから三つの協会が一つになって行くには、いろんな問題があります。田沢湖は温泉など景観を活かした観光、角館は武家屋敷。また、形態としても田沢湖の観光協会は社団法人であり、角館はそうではない。それぞれ違いがある訳です。市が、合併したから、協会が一緒になれるという状態でなく。しかし、共通の認識の中で進めていかなければ、観光産業を活かしたとはいえない訳です。私の方からも、各観光協会がそういったことを踏まえ、さらに推進していけるよう働きかけたい。行政としては、観光課は合併の時からいろんなことがあり、市の組織としては、観光課は一つだけであり、産業観光部の観光課です。そこで、仙北市の観光行政を統一していくことになっています。しかし、田沢湖のようにいろんな観光スペースがあり、行事が多くあるところは、広く対応が出来るということで、地域センターの中に、この土地固有の観光について実行・実施出来る部署があります。政策的なことや予算を主体としない。決まったことを実行する。行政として地域にお手伝いできる。そういう役目として田沢湖地域観光課というものがあります。西木には地域センターの中に観光班というのがあります。しかし、仙北市として予算、政策をやっていくのは、繰り返しますが、産業観光部の観光課です。場所としては、角館の中町庁舎にあります。そういう形で一本化はしております。

《小松委員》

この地域審議会は、旧町村単位であるが、例えば、全体の統括したものは知ることが可能か。関連性がかなりあると思うが。どの時点で市全体の計画を知ることが出来るか。

《倉橋課長》

昨日、角館の審議会でも同様な質問がありました。地域センターの在り方だと思いますけれども、それについてかなり意見交換しました。私たちも地域審議会を初めてやらせて頂くわけで、明確に答えられなかった訳です。今回、総合計画の策定ということで皆様にご意見を伺う訳ですが、田沢湖地域の事だけをお尋ねする訳ではなくて、随時、関連性があると判断した場合は、情報提示して全体の流れをつかんで頂くようにしたいとは思っています。ただし、どの段階やどの程度までかというのは今現在では申し上げられません。また、各地域審議会の情報は、それぞれ流して参りたいと思います。いずれにしても仙北市があつて、田沢湖地区があることを念頭に置いて、進めて参りたいと思います。

《高藤委員》

この会に参加させて頂いている訳だが、市全体を網羅した意見・提案でよいか、テーマを絞ってやるのか。

《倉橋課長》

おっしゃるとおり、私たちも悩んでいるところです。しかし、各地域の意見を尊重するあまり、別々の方向に向かわれては困りますので、そこら辺の調整は企画政策課でやらせて頂きたいと思います。具体的に9月に総合計画をつくるという目標がありますので、それについては、テーマを絞って提案したいと考えています。また、策定後は、市長がおっしゃるとおり検証を重ねて参りたいと思います。それから地域審議会を合同で開催できないかという質問がありましたが、研修会等で検討して参りたいと思います。

《高橋達委員》

やはり、三地区の意見をまとめるというのは、市に任せるということだが、上手にやってほしい。住民がなにを望んでいるかを知るのはアンケートをとることが重要と考える。また、内容を吟味することこそが大事なことと提案する。さらに、アンケート（案）から参加はできないか。

《倉橋課長》

角館でも同じことができています。

《伊藤会長》

アンケートは全市的にできていますので、それを地域別に分けることなく全体的なものと捉えて見て頂きたい。

《草薨委員》

私は、審議々という言葉が一杯出てくると思うが、新しくやらなければならない事がたくさん出てくると思う。今、一番考えていることは、国

体のことである。ただ、審議々とのぼしていくとどこでどうなるか解らなく心配である。国体の成功が市民の思いであると思うし、待ったなしの状況である。審議だけではなく皆でよい知恵をだし、よい方向に行かなければならないと思っている。

《伊藤会長》

先程、工程表がでましたが、それにのっとらなければ出来ない事と思います。今のことは今すぐやらなければならない事にはならないし、意見として、どっかに挟めていただくんですが、行程に沿った形で行きたいなと思います。

私からは、合併して行政区域、字界に線が引かれていますが、線の見直しが出来ないものか。今回の計画の中で取り上げられていないのが、非常に残念なことです。私事ですが、現在すんでいるところが、角館、西木、田沢湖の狭間におりますので、痛切に各地域のことが解ります。そうゆう意味で、今までの接点、地域の線引きはこのままで果たしてよいのか、計画の中で取り上げられないのかなと思います。以上です。

《倉橋課長》

次回開催は、五月上旬を予定しておりますので、予め連絡します。

テーマについても、絞った形で進めるよう準備いたしますので、宜しくお願いします。

《伊藤会長》

外にありませんか。

《細川委員》

皆様の意見をお伺いしまして、先程の審議会の資料はいただける事は解った。だが、項目ごとにはわかりずらい事が多々あると思う。ですから、研修という事をなんらかの形で、例えば一同に介さなくとも良いので、是非とも企画して欲しい。様々な分野について研修する機会が欲しい。

《伊藤会長》

細川委員から意見ありましたが、私からも、課題として研修が必要だと判断された場合は、研修の機会を持って頂きたいとお願いします。これで、この会を閉じさせていただきます。長時間ありがとうございました。

(以上))